実施報告書

は じ め に

こどものまち「ミニさっぽろ」は子どもたちが仮想の街「ミニさっぽろ市」の市民となり、職業体験や消費生活体験を行うイベントで、参加した子どもたちが、働くことの楽しさや大変さを体験し社会の仕組みを学ぶとともに、市民自治についての意識を高めることを目的として、平成18年より実施しております。

その後、次代を担う子どもたちの職業観の形成に関するニーズの高まりを背景として、実施体制や事業内容の見直しを行い、体験活動の質的な向上を図ってまいりました。特に、参加者の体験内容の企画にあたりましては、職業体験プログラムの企画から実施にいたるまで協賛企業の皆さまの御協力をいただくことで、社会の第一線で活躍されている方から直接指導を受けながらの本格的な職業体験が可能となっております。

今回の「ミニさっぽろ2017」では昨年に引き続き、札幌市の道内連携の取組みの一環として、参加対象者を札幌広域圏の小学校3・4年生へと広げて開催いたしました。また、保護者の皆様にも子どもたちの職業体験の様子を見ていただこうと、「こどものまち」の写真をインターネットで販売したほか、全ブースで予約制度を導入いたしました。

この報告書では、イベントの趣旨や当日の様子、参加者からの声などを御紹介しております。また、各ページには、子どもたちの笑顔があふれる写真などを盛り込みました。

報告書を通じて、参加された方にはもちろん、今回参加されなかった方にも、子どもたちのいきいきとした様子や会場の賑わいを感じていただければ幸いです。

平成29年12月

ミニさっぽろ2017実行委員会

ミニさっぽろ

目 次

はじめに

開催概要1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

開催概要2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

開催概要3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

開催概要4・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

子どもボランティアの参加について ・・・・・・・・・・ 5

会場構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

会場図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

「ミニさっぽろ」のお仕事内容 ・・・・・・・・・・・・・・・ 8～30

「ミニさっぽろ」大人ゾーン ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

メディアパブリシティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

事業ツール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

会場風景 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35～36

来場者アンケート結果（子ども） ・・・・・・・・・・・・・・ 37～38

来場者アンケート結果（保護者）・・・・・・・・・・・・・・ 39～42

子どもボランティアアンケート結果・・・・・・・・ 43～45

札幌市民憲章とミニさっぽろ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

出展・協賛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

ミニさっぽろ

■事業名称：こどものまち「ミニさっぽろ2017」

■事業目的：こどものまち「ミニさっぽろ市」という、仮想の街で職業体験や生活体験を通して子どもたちに働くことの楽しさや苦労を体験してもらい、世の中の仕組みなどを学ぶとともに、市民自治の意義について考える機会とする。

■主　　催：ミニさっぽろ2017実行委員会
札幌商工会議所・札幌市民憲章推進会議
一般財団法人札幌産業流通振興協会（アクセスサッポロ）
札幌市・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
公益社団法人札幌市子ども会育成連合会

■事　務　局：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会（企画運営業務委託(株)ノヴェロ）

■後　　援：札幌市教育委員会・(株)コンサドーレ・札幌広域圏組合
札幌市小学校長会・日本赤十字社札幌市地区本部

■開催日時：平成29年
9月30日（土）午前9時～午後5時
10月1日（日）午前9時～午後5時

■開催場所：アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3番55号）

■対　　象：札幌市内及び札幌広域圏（北広島・江別・恵庭・千歳・石狩・当別・新篠津）の小学校に通う小学校3・4年生

■参加費：1日2,500円

■参加人数：9月30日（土）　1,457名
10月1日（日）　1,965名　　合計3,422名

こどものまち「ミニさっぽろ」とは？

こどものまち「ミニさっぽろ2017」は、「ミニさっぽろ市」という仮想の街で職業体験を行うことのできる体験型のイベントで、札幌市内及び札幌広域圏の小学校3、4年生を対象として2日間の日程で実施しました。ミニさっぽろの開催は平成18年にはじまり、今回が12回目となります。

「ミニさっぽろ市」には、消防署などの公共機関から飲食店、販売店などさまざまな会社やお店があります。子どもたちは会社（お店）に就職し、ドーレという通貨でお給料をもらい、税金を納めて残ったお金で遊んだり、買い物や食事をすることができます。働いて得たお金をどのように使うか、「まち」の中で何をするかは子どもたちが自分で自由に考えて決めることができます。

こどものまち「ミニさっぽろ」の流れ

参加するには事前にチケットを購入しなければなりません。

参加チケットはセブン-イレブン店頭マルチコピー機「セブンチケット」にて
9月2日（土）10:00から販売いたしました。

開催当日、会場に来たら・・・・

受付の人にチケットを渡して、市民証ホルダーと200ドーレを受け取ろう

働きたい会社やお店に行ってお仕事内容をカクニン

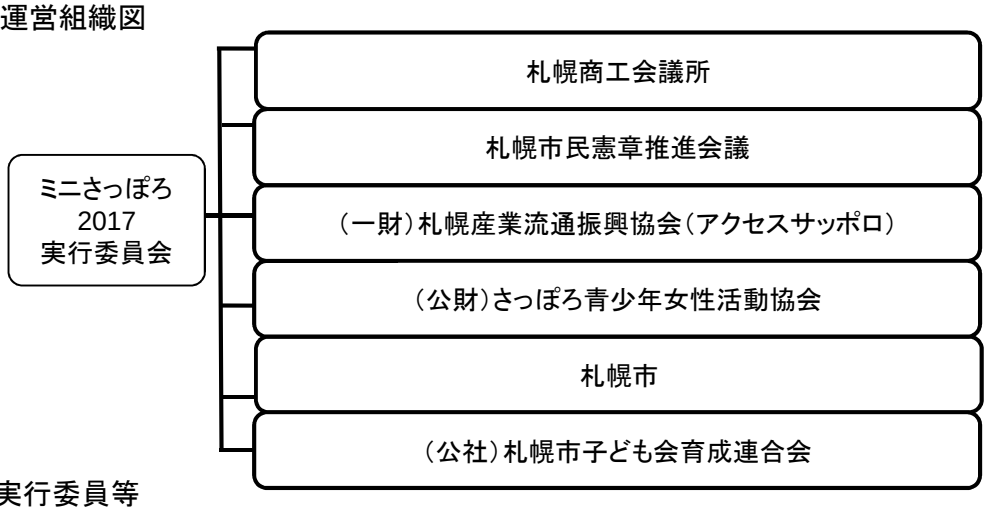
イスが空いていたらお仕事OK
ふさがっていたら次を待とう

働き終わったら市民証に記入して
もらってドーレを受け取ろう

ドーレを使って買物や食事を楽しもう

ドーレがなくなったら
②～⑤を繰り返そう

■運営組織図



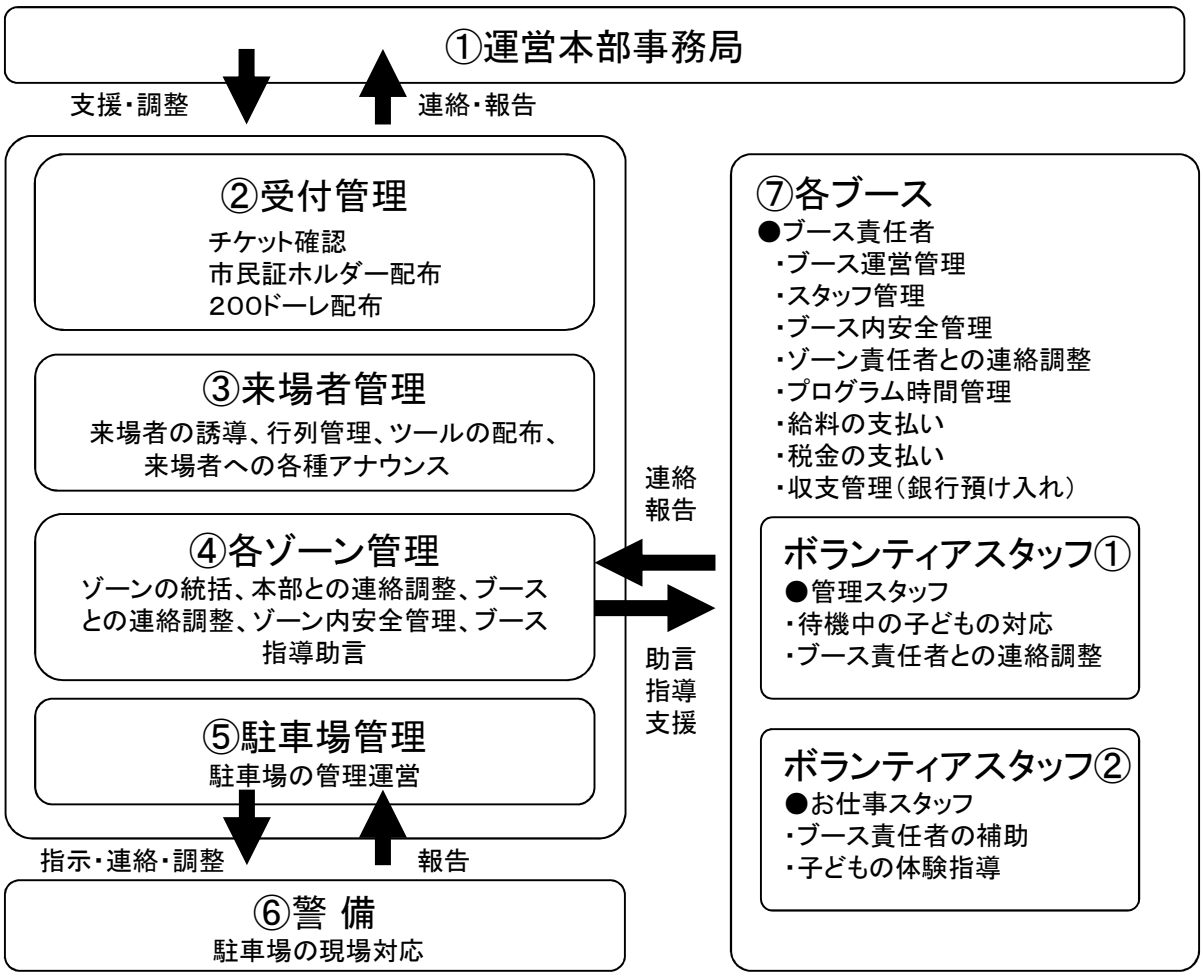
■実行委員等

・顧　　問／秋元　克広（札幌市長）
・委 員 長／可児　敏章（札幌市子ども未来局長）
・副委員長／浅野　正信（公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会副理事長）
・監　　事／小野　聡　（一般財団法人札幌産業流通振興協会専務理事）
・委　　員／阿部　芳昭（札幌商工会議所建設部会部会長）
・委　　員／松平　英明（札幌市民憲章推進会議議長）
・委　　員／高野　馨　（札幌市市民文化局長）
・委　　員／佐藤　欣一（公益社団法人札幌市子ども会育成連合会会長）

■事務局　　・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
（企画運営業務委託（株）ノヴェロ）

ミニさっぽろ

「ミニさっぽろ」は、札幌商工会議所、札幌市民憲章推進会議、札幌産業流通振興協会、さっぽろ青少年女性活動協会、札幌市子ども会育成連合会、札幌市による実行委員会のもと、下記①～⑦のセクションで運営されました。



●ボランティアによる運営サポート

ミニさっぽろは会場内に『こどものまち』を作るという大規模なイベントであり、その実現のためにはボランティアの存在が欠かせません。今回も小学校5、6年生の子どもボランティア、学生、札幌市職員など、多くのボランティアの方が参加してくださいました。ボランティアの方には、各企業ブースでの子どもたちのサポートや安全管理のみならず、会場の撤収までさまざまな面で御協力をいただきました。

ボランティアスタッフ活動概要

■ボランティアスタッフ説明会／ 9月9日（土）～子どもボランティア
9月19日（火）・20（水）～学生・職員ボランティア

ミニさっぽろについての説明と打合わせを行いました。

■ブース運営のサポート

子どもたちの働きやすい環境を整えるため、企業ブースでの運営サポート、本部との連絡調整、参加者の安全など幅広い対応をしていただきました。

■撤収作業

終了後はブース解体のお手伝いや資材の撤去、会場清掃等を行っていただきました。

子どもボランティアの参加について

「ミニさっぽろ2017」は、小学校3・4年生を対象としておりますが、事業の実施にあたっては、「子どもの視点」を主体的に取り入れることを目的として、市内の小学校に通学している5・6年生を対象に「子どもボランティア」の募集を行いました。71名の応募があり、抽選にて決定した58名の子どもたちが「子どもボランティア」として参加しました。

【説明会（9月9日（土）10:00～15:00）】

説明会では、「ミニさっぽろ」についての説明を受けた後、当日運営する「レストラン」・「ゲームコーナー」・「商店」の準備をみんなで行いました。

参加した子どもたちは、グループ分けをして担当が決まると、レストランのメニュー決めやゲームのルールづくり、商店で売る品物について話し合いを行いました。

【ミニさっぽろ開催日】

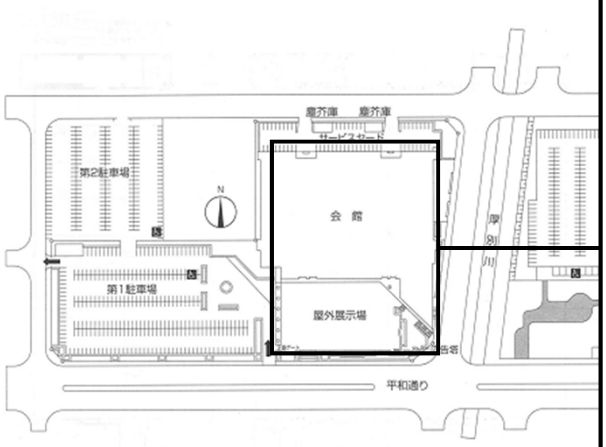
子どもボランティアは、当日会場内にあるステージの上で、開会宣言を行った後、担当のお仕事プログラムに参加しました。

お仕事を体験する小学3・4年生のサポート、多くのお客さんのために一生懸命働きました。

各日の終了後には、記念品贈呈式にて、記念品が贈呈されました。

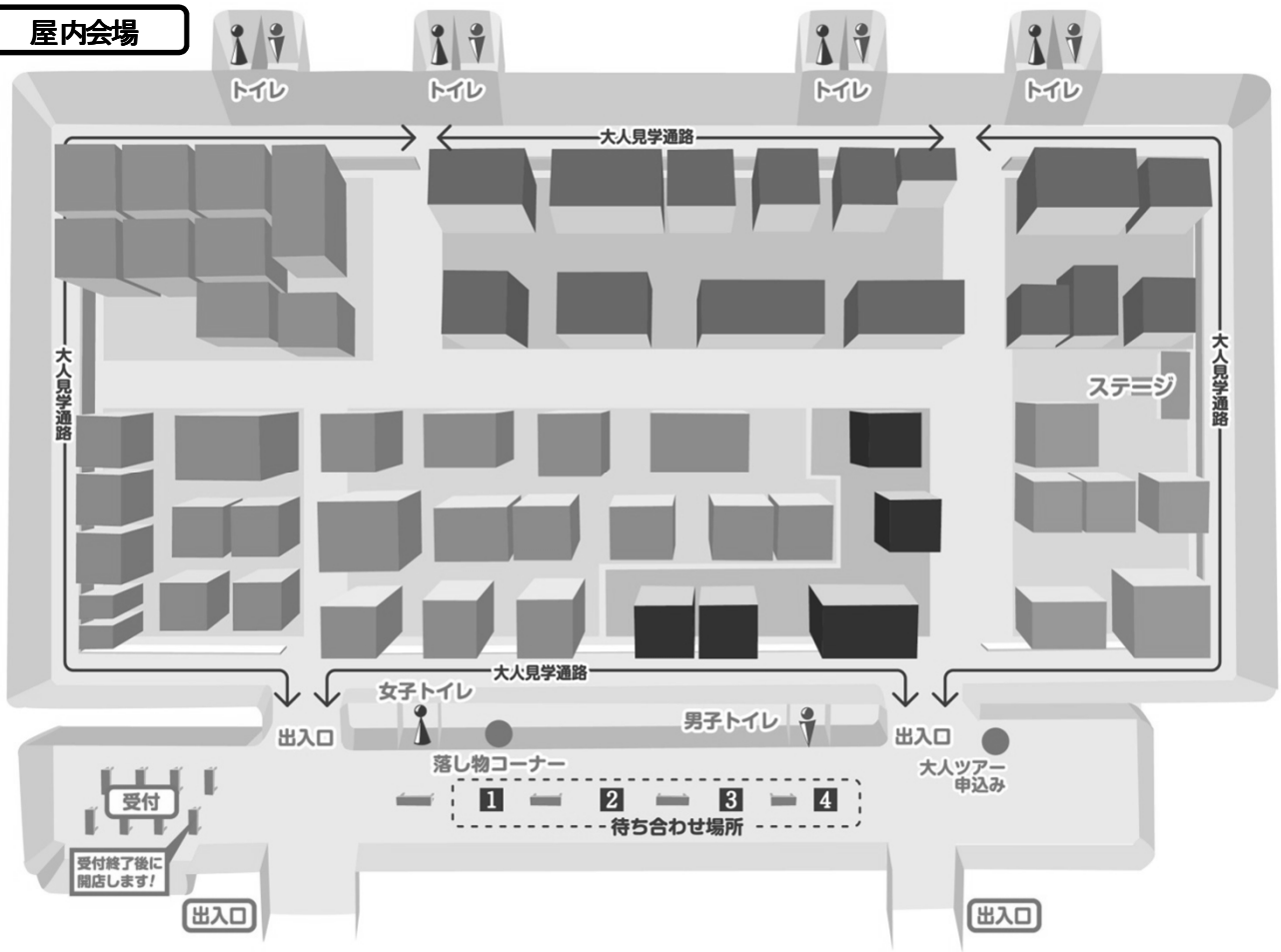
【ミニさっぽろ2017会場構成】

会場のアクセスサッポロ全体を使用して開催しました。
子どもたちがお仕事を体験するスペースは基本的に子ども限定とし、大人の入場を禁止しました。
大人が見学できるゾーンとして「こどものまち」の外周に見学通路を設け、子どもたちの活動を近くで見られるようエ夫しました。



屋内	運営本部	
	子ども限定	①建設ゾーン
		②商店街ゾーン
		③官公庁ゾーン
		④オフィスゾーン
		⑤カルチャーゾーン
		⑥ステージゾーン
	親子共有	⑦企業PR・保護者待機ゾーン（大人ゾーン）
		⑧外周見学通路
屋外		⑨屋外ゾーン

屋内会場



これがミニさっぽろ市のまちなみだ！

これがミニさっぽろ市のまちなみです。

ミニさっぽろ市民は、市民証の交付を受けた後入場します。

街の中心部は銀行や新聞社、警備会社などが集まったオフィスゾーン、カルチャーゾーンで構成されており、入口左側は消防署や交通局などの官公庁ゾーン。上部左側には、左官や造園、インテリアデザインなどが体験できる建設ゾーンとなっています。

また、上部中央から右側にかけては、ショッピングモールと見立てた商店街ゾーンとし、スーパーマーケットやドラッグストアなどでの販売体験や買い物もできるコーナーとしました。下部右側は、テレビ局、ファッションモデル体験ができるステージゾーンとなっています。屋内会場の外周には見学通路を設け、保護者の皆さんが子どもたちの体験している様子を見学できるようにしました。

屋外会場

屋外には地下鉄の運行業務を体験できる「ミニてつくん」を配置。高所作業車に乗って電話線工事を行うお仕事や、バスの車両整備やゴミの分別などを行うお仕事などがありました。

建設ゾーンについて

札幌商工会議所建設部会や民間企業の御協力をいただき、建設にかかわるお仕事を行いました。ペーパークラフトを使った家の設計、コテを使った壁塗り、高所作業車に乗って電球を交換する体験、実際のお花や樹木を使って行うお庭造り、信号機の配線工事などのお仕事を体験し、みんな満足そうでした。

建設ゾーン　1. ミニさっぽろ左官

お仕事名
「左官職人」

こてを使って壁一面に珪藻土を塗る作業をしました。材料をこて板に乗せ、コツを教えてもらいながら、こてを使って壁に塗りつける作業を繰り返しながら白壁を作り上げました。

＜参加企業・団体＞
札幌左官工事業協同組合

建設ゾーン　2. ミニさっぽろ造園

お仕事名
「お庭づくり」

1.自分のつくりたい庭をデザインしました。
2.デザインが終わったら、みんなでいっしょにお庭を作りました。
3.材料のお花を植えました。
＜おまけ＞
お花の苗

＜参加企業・団体＞
（一社）北海道造園緑化建設業協会

建設ゾーン　3. カナモト

お仕事名
「高所機械作業」

室内高所作業車に乗って高所に取り付けられている電球をLED電球に交換する作業を行いました。安全確認をしながら1台に2名乗車しました。
＜おまけ＞
BOXティッシュ・LEDライト・トートバック

＜参加企業・団体＞
㈱カナモト

建設ゾーン　4. ミニさっぽろ建築

お仕事名
「建築設計」

紙の模型を組み立て、色を塗ってお家を作りました。できあがったお家を街に並べて記念撮影しました。
＜おまけ＞
作ったお家

＜参加企業・団体＞
（一社）北海道建築士事務所協会 札幌支部

建設ゾーン　5. 田中組

お仕事名
「建設機械運転手」

パワーショベルを操縦し、荷物をダンプトラックに積み込みました。次にダンプトラックをラジコン操作して所定の場所に移動させ荷降ろししました。補助の人はこぼれた積荷を清掃しました。
＜おまけ＞
積荷

＜参加企業・団体＞
㈱田中組

建設ゾーン　6. 北海道鉄筋業協同組合

お仕事名
「鉄筋業」

鉄筋工業事業の代表的な工具「ハッカー」を使って建物の骨組みである鉄筋の組立てや独自の工具を使っての鉄筋切断・曲げ作業・その他鉄筋の運搬作業をしました。最後に鉄筋で作ったブランコに試乗して、鉄筋の強さを体験しました。

＜参加企業・団体＞
北海道鉄筋業協同組合

建設ゾーン　7. ミニさっぽろインテリアプランナー

お仕事名
「インテリアデザイン」

お客様に提案するプレゼンボードの製作をしました。
●お部屋の内装材を選びました。
●パースに色付けをしました。
出来上がったプレゼンボードを事務所の所長さんに説明をして終了しました。
＜おまけ＞
出来上がった作品

＜参加企業・団体＞
北海道インテリアプランナー協会

建設ゾーン　8. ミニさっぽろ作業所

お仕事名
「測量士」

建設全般のお仕事の説明を聞いた後、実際に測量機械を使って測量作業を体験し、その数値をパソコンで取りまとめました。

＜参加企業・団体＞
岩田地崎建設（株）

建設ゾーン　9. 札幌日信電子

お仕事名
「交通信号灯器の電気配線」

交通信号機工事の作業員として、電線の皮むきと配線、電球の取り付けを行い、最後に動作テストを行いました。
＜おまけ＞
作業に使った手袋

＜参加企業・団体＞
札幌日信電子（株）

商店街ゾーンについて

商店街ゾーンには、ドラッグストアやガソリンスタンド、手芸専門店、薬局、ホテルなどの会社が集まりました。
このゾーンは、お仕事が体験できるだけでなく、働いて手にした給料を使うことができるさまざまなお店が集まっているため、食事をしたり、ショッピングをする子どもたちで終日賑わいを見せていました。

商店街ゾーン　10. 北海道自動車処理協同組合

お仕事名
「自動車リサイクル処理」

車に付いているコンピューターのネジを外し、3つの資源（鉄、アルミニウム、きばん）に分別しました。分別が完了したら、元通りに組み立てました。

＜参加企業・団体＞
北海道自動車処理協同組合

商店街ゾーン　11. ホテルエミシア札幌

お仕事名
「おもてなしのプロ ホテリエ」

①おもてなしのプロ達から、お客さまをお出迎えするための挨拶、お辞儀のしかた、言葉使いを学びました。
②お客さまが泊まるお部屋のベッドメイク、リネン類のセットアップをしました。美しくベッドメイクする技を習って実際にやってみました。
③チェックインの仕方を習い、お客さまをお出迎えしました。お客さまにはチェックインカードを書いていただき、お部屋の鍵などをお渡ししました。
＜おまけ＞
①実際にお部屋にご用意している歯ブラシなどのアメニティ
②チェックイン体験で使用したペン、ホテルで使えるスパチケットなど

＜参加企業・団体＞
㈱ホスピタリティオペレーションズ
ホテルエミシア札幌

商店街ゾーン　12. ミニさっぽろ整備工場

お仕事名
「自動車整備士」

自動車整備士として、自動車の点検整備をしました。ツナギに着替え、実際に自動車のエンジンルームやタイヤの点検、電球の交換などを行いました。

＜参加企業・団体＞
（一社）札幌地方自動車整備振興会

商店街ゾーン　13. 花王

お仕事名
「花王クイックルおそうじ隊」

みんなが働くミニさっぽろの街をきれいにするために、お掃除道具を持って、会場内のいろいろな場所を実際にお掃除しました。

＜参加企業・団体＞
花王（株）

商店街ゾーン　14. 大丸藤井セントラル

お仕事名
「文房具づくり」

文房具（ボールペン）の組み立てを行いました。色とりどりの部品を使ってオリジナルのボールペンをつくりました。
＜おまけ＞
完成したペン

＜参加企業・団体＞
大丸藤井セントラル

商店街ゾーン　15. ナカジマ薬局

お仕事名
「調剤薬局」

調剤薬局での薬剤師のお仕事を体験しました。軟膏調剤、専用の機械を使用して錠剤を1包みにする調剤作業。患者様に飲み方などを説明して、お薬を渡す体験をしました。

＜参加企業・団体＞
㈱ナカジマ薬局

商店街ゾーン　16. だがしと文具マーケット

お仕事名
「販売員」

販売員として、みんなの大好きな駄菓子や文房具などをディスプレイしてお客様に販売するお仕事をしました。

＜参加企業・団体＞
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会

商店街ゾーン　17. 街角レストラン

お仕事名
「ホールスタッフ・キッチンスタッフ」

ホールスタッフとして、お客様の注文をとり、フード等を提供しました。
また、キッチンスタッフとして簡易調理を行い、さまざまな料理を提供しました。
＜料理名＞
特製ビビンバ・おにぎらず・クレープ・たこせん

＜参加企業・団体＞
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会

商店街ゾーン　18. 北海道エネルギー

お仕事名
「サービスステーション（ガソリンスタンド）」

ブースに集合して制服に着替え、車の誘導･給油作業･窓拭きサービスなど実際のお仕事体験をしました。
＜おまけ＞
制服で記念撮影をした写真、修了証

＜参加企業・団体＞
北海道エネルギー（株）

商店街ゾーン　19. ツルハドラッグ

お仕事名
「ドラッグストア店員」

ドラッグストアの店員として商品の陳列や値段をつける作業、正しい言葉遣いを練習して来店されるお客様を応対しました。実際にレジ打ちにもチャレンジしました。
＜おまけ＞
ネームプレート

＜参加企業・団体＞
（株）ツルハホールディングス

商店街ゾーン　20. カナリヤ

お仕事名
「手芸専門店スタッフ」

さまざまな色や柄の生地を寸法にあわせてカットして商品をつくりました。
＜おまけ＞
シュシュ

＜参加企業・団体＞
（株）カナリヤ

商店街ゾーン　21. ナポリの窯

お仕事名
「ナポリピッツァ職人」

ナポリピッツァづくりに挑戦しました。メニューはスイートコーンがたっぷりのった「マヨコーンのクリーミィ仕立て」。生地を延ばし、クリームコーンソースを塗って、コーンをトッピングし、チーズを乗せてオーブンで焼きました。
＜おまけ＞
自分が作った焼きたてのナポリピッツァ

＜参加企業・団体＞
（株）ストロベリーコーンズ

商店街ゾーン　22. ジェラテリア・レ・ディ・ローマ

お仕事名
「ジェラートショップ（アイスクリーム屋さん）」

注文を受ける人、アイスを盛る人、アイスを渡す人の3班に分かれました。
お店の前で注文をとり、店内スタッフに伝える→店内スタッフがアイスを盛る→盛ったアイスを店内スタッフに渡す→店内スタッフがお客様にアイスを渡しました。

＜参加企業・団体＞
（株） Sei unica

商店街ゾーン　23. コカ・コーラカフェ

お仕事名
「カフェ店員」

コカ・コーラカフェのスタッフとして、接客業務全般（注文・レジ係・キッチン係・製品補充・宣伝）を学び、実際に飲み物を販売する体験をしました。

＜参加企業・団体＞
北海道コカ･コーラボトリング（株）

商店街ゾーン

24. ドーレゲッターパーク

お仕事名
「ゲームコーナースタッフ」

スマートボール等ゲームの遊び方やルールの説明、景品の提供をおこないました。

＜参加企業・団体＞
（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

官公庁ゾーンについて

官公庁ゾーンには、公的機関が集まりました。消防署では消火活動や人命救助活動を実施。
また、市税事務所では各ブースを回り税金を徴収、その金額を定期的に発表しました。
廃棄物の収集などみんなで協力してお仕事を行っていました。

官公庁ゾーン　25. ミニさっぽろ市消防署

お仕事名
「消防隊員・救助隊員」

ミニさっぽろ市消防署の消防隊員・救助隊員として災害現場に出動し、消火活動や人命救助活動をしました。
＜おまけ＞
消防グッズ

＜参加企業・団体＞
札幌市消防局

官公庁ゾーン　26. ミニさっぽろ排水指導センター

お仕事名
「排水指導」

工場やガソリンスタンドなどの事業場からの排水は、ある一定の水質基準を満たさなければ下水道に流すことができないので、その事業場からの排水の水質をチェックし、改善指導を行いました。

＜参加企業・団体＞
札幌市下水道河川局

官公庁ゾーン　27. ミニさっぽろ市税事務所

お仕事名
「税務職員」

市税事務所の職員として、いろいろな会社やお店をまわり、税金を集めて、合計を計算し、集めた税金の総額をステージで発表しました。

＜参加企業・団体＞
札幌市財政局

官公庁ゾーン　28. 動物検疫所ミニさっぽろ支所

お仕事名
「動物の検疫官（家畜防疫官）」

海外から輸入されるワンちゃん、ネコちゃんが無事に日本へ入れるかどうかの検査をしました。外国の明証書のチェックや、犬猫の健康診断をして、海外の病気から日本を守るためのお仕事をしました。
＜おまけ＞
探知犬トレーディングカード

＜参加企業・団体＞
農林水産省動物検疫所北海道・東北支所

官公庁ゾーン　29. ミニさっぽろ清掃社

お仕事名
「廃棄物の収集運搬員」

会場内で各ブースから発生する廃棄物を、「燃えるもの」「ビン・缶・ペットボトル」に分別し、収集車で収集しました。
また、出された廃棄物の量に応じて料金を徴収しました。

＜参加企業・団体＞
札幌環境維持管理協会

官公庁ゾーン　30. ミニさっぽろ市交通局

お仕事名
「地下鉄の運行業務」

電車の運転手や車掌として、実際に乗客を乗せて走る「ミニてつくん」を運行しました。駅員として乗客の案内や乗車券の販売を行いました。

＜参加企業・団体＞
札幌市交通局

官公庁ゾーン　31. ミニさっぽろ清掃事務所

お仕事名
「さっぽろごみパト隊」

①スケルトン型収集車を使用し、ごみの収集作業をしました。
②違反排出ごみの中身を確認し、正しく分別し直しました。

＜参加企業・団体＞
札幌市環境局

官公庁ゾーン　32. ミニさっぽろまちづくりセンター

お仕事名
「まちセン所長」

市内に87か所ある「まちづくりセンター」（まちセン）は地域のサポーターです。まちセン所長として、まちづくりをゲームで体験して、暮らしやすいまちを考えました。

＜参加企業・団体＞
札幌市市民文化局

官公庁ゾーン　33. ミニさっぽろ市水道局

お仕事名
「水道局職員」

安全でおいしい水道水が家に届くまでの仕組みを学んだ後、水道管の水漏れ修理と、災害に備えて給水タンク車から水を汲む訓練をしました。
＜おまけ＞
水道局職員証・水道オリジナルノート

＜参加企業・団体＞
札幌市水道局

官公庁ゾーン　34. ミニさっぽろ市子ども未来局

お仕事名
「子育て相談窓口職員」

子育てやこどもにかかわる相談に対応するお仕事をカードゲームを通じて体験しました。
＜おまけ＞
子どもの権利啓発グッズ

＜参加企業・団体＞
札幌市子ども未来局

オフィスゾーンについて

オフィスゾーンには、子どもたちの給料を計算して会社に届ける銀行や、子どもたちが記者・カメラマンを務め会場で新聞を印刷・配布した新聞社のほか、警備会社のガードマンなど、楽しいお仕事が勢ぞろいしました。様々な制服に着替えたり、みんな真剣にお仕事を体験していました。

オフィスゾーン

35. ミニほっかいどう銀行

お仕事名
「銀行員」

銀行員として、会社やお店からの依頼を受けて、お給料を準備し、届けるお仕事でした。また、お店から届けられた売上金を入金伝票に記入しました。

＜参加企業・団体＞
(株)北海道銀行

オフィスゾーン

36. こどものまち眼科

お仕事名
「視能訓練士」

視力検査、両眼視機能検査、眼底写真撮影。眼科で実際に使っている器械や用具で検査をしました。視力などの「ものをみる機能」を調べたり、目の構造を調べたりしました。

＜参加企業・団体＞
北海道視能訓練士会

オフィスゾーン

37. ミニさっぽろ医科大学

お仕事名
「医師・看護師」

医師と看護師のお仕事を体験しました。医師は内科医師として白衣を着て、聴診器を使い、心臓の音を聞いて病気を診断しました。看護師は赤ちゃんの抱っこおむつ交換をしました。

＜参加企業・団体＞
北海道公立大学法人　札幌医科大学

オフィスゾーン　38. アルバイト北海道

お仕事名
「いろいろなお仕事調べ」
社会にある色々なお仕事は、どんな内容でどんな道具を使ってするお仕事なのか、クイズ形式で楽しみながら答えを考えました。全問正解すると、『アルキタお仕事マスター』に認定されました。
＜おまけ＞ノート
■お仕事相談と情報掲示板もこちらのブースで実施しました。

＜参加企業・団体＞
（株）北海道アルバイト情報社

オフィスゾーン　39. ALSOK 綜合警備保障

お仕事名
「ガードマン」

ガードマンとしての装備・装着で、警備するときの姿勢、構えの練習をしました。警報が出た場合の対応も行いました。
＜おまけ＞
記念グッズ

＜参加企業・団体＞
綜合警備保障（株）

オフィスゾーン　40. ミニさっぽろ運送

お仕事名
「配送スタッフ」

配送スタッフとして、店舗へ荷物の集荷に行き、指定された別店舗に荷物を配達しました。屋外には本物の大型トラックを用意していました。
＜おまけ＞
仕事で使用した軍手、記念グッズ

＜参加企業・団体＞
札幌商工会議所 運輸・自動車部会
（公社）北海道トラック協会

オフィスゾーン　41. ミニさっぽろ郵便局

お仕事名
「郵便配達」
郵便業務スタッフとして、郵便物を窓口で引き受けたり、ポストから取り集めて区分し、ミニさっぽろ市内の会社や商店に配達しました。
＜おまけ＞
バイクと一緒に撮った記念写真を印刷したポストカード（お仕事が終わったら、家族や友達に送りました。）
＜参加企業・団体＞
日本郵便（株）北海道支社

オフィスゾーン　42. 北海道新聞社

お仕事名
「新聞記者・カメラマン・配達員」

会場で働くお友だちを取材・撮影し原稿を書き、みんなの原稿や写真を使い、その場で新聞を作りました。
配達員は、屋外の「ぶんぶん号」で印刷した新聞を会場内で配りました。

＜参加企業・団体＞
（株）北海道新聞社

オフィスゾーン　43. 北海道作業療法士会

お仕事名
「作業療法士」
作業療法士になって、リハビリを必要としている人の困っていること、したいことを聞いて、適した道具の使い方や動作の仕方を指導するお仕事を体験しました。
＜おまけ＞
お仕事に使った文房具

＜参加企業・団体＞
（公社）北海道作業療法士会

オフィスゾーン

44. 伊藤忠エネクスホームライフ北海道

お仕事名
「液化石油ガス設備士」
設備士のユニホームに着替えガスボンベ・ガスメーター・ガス漏れ警報器・コンロの安全点検専用の機械を使ってガス漏れの検査をしました。ガス漏れを発見した時は専用の工具を使ってガス漏れの修理をしました。
＜おまけ＞
作業に使った軍手・顔写真入り免状・エコバック・ティッシュ・お菓子
＜参加企業・団体＞
伊藤忠エネクスホームライフ北海道㈱

オフィスゾーン

45. コールセンターのトランスコスモス

お仕事名
「コールセンターオペレーター」

札幌市に関する問い合わせ窓口のオペレーターとして、パソコンやヘッドセットを使い、コールセンターの体験をしました。電話を使って、お客様の質問や疑問に答えました。

＜参加企業・団体＞
トランスコスモス（株）

カルチャーゾーン

46. レバンガ北海道

お仕事名
「レバンガ北海道バスケットボールアカデミー」

レバンガ北海道バスケットボールアカデミーの体験会。初心者の方も楽しく参加できました。

＜参加企業・団体＞
㈱北海道バスケットボールクラブ

オフィスゾーン

47. ミニさっぽろバス

お仕事名
「バス運行業務」

お客様に安全・安心な観光バスに乗車していただき、快適な旅行ができるように、三つのお仕事のうち一つを体験しました。

①観光バスガイド
バスの中でお客様に観光案内をしました。
②バス乗務員
バスを安全に運転するために点検などの運行準備をしました。
③バス整備士
バスにトラブルがないよう実際のバスの整備点検を行いました。

＜参加企業・団体＞
札幌商工会議所 運輸・自動車部会
札幌地区バス協会

カルチャーゾーンについて

　カルチャーゾーンには、ツアーコンダクター、スタイリスト、カメラマンなど、子どもたちにとっては憧れの職業がたくさん登場し、みんな笑顔で体験していました。
　電話やインターネットのしくみを学ぶことができる電話通信工事のお仕事は、屋外で高所作業車に乗り、電柱の電話線工事などを体験しました。

カルチャーゾーン

48. 写真館　スタジオ・アン

お仕事名
「カメラマン」

カメラマンやアシスタントの役割を決め、カメラの使い方を練習した後に、実際に撮影や接客を行いました。
＜おまけ＞
記念写真

＜参加企業・団体＞
（株）アクセスアイ

カルチャーゾーン

49. 札幌こども専門学校

お仕事名
「保育士・幼稚園教諭」

・赤ちゃんのおむつかえ
・粉ミルク＆離乳食づくり

＜参加企業・団体＞
三幸学園　札幌こども専門学校

カルチャーゾーン

50. びようしつ　ビューティーアート

お仕事名
「美容師・ネイリスト」

①髪の毛にホットカーラーを巻いてお客様に似合うヘアをセットする美容師のお手伝いをしました。
②チップにカラーリング＆ヘアーピンにデコデコアートをしました。
＜おまけ＞
作ったヘアーピン

＜参加企業・団体＞
三幸学園　札幌ビューティーアート専門学校

カルチャーゾーン

51. JTB北海道

お仕事名
「添乗員（ツアーコンダクター）」

大人は入れないミニさっぽろの街を見学できる「ミニさっぽろ大人ツアー」の行程を作成しました。その後、添乗員（ツアーコンダクター）として実際に、お父さん・お母さんを連れて会場内を案内するお仕事をしました。

＜参加企業・団体＞
（株）JTB北海道

カルチャーゾーン

52. NTT東日本ミニさっぽろ支店

お仕事名
「電話工事」

電話・インターネット回線の開通工事のお仕事。屋外で高所作業車に乗って電柱工事を体験しました。家の中での配線工事や昔の黒電話機の利用体験もしました。
＜おまけ＞
記念写真付き修了証

＜参加企業・団体＞
東日本電信電話（株）北海道事業部

ステージゾーンについて

ステージゾーンには飲食ブースなどが集まりました。テレビ局では、本物の中継車が持ち込まれ、実際にテレビで活躍しているアナウンサーと一緒に会場内でテレビ中継を行いました。
また、ファッションショーのモデルの体験でかわいいポーズを決めていました。

ステージゾーン　53. STVこども放送局

お仕事名
「STVこども放送局」

レポーター、ディレクター、カメラマンとしてテレビ番組がどのように作られるのか体験しました。本物の機材を使いました。
＜おまけ＞
STVオリジナルグッズ

＜参加企業・団体＞
札幌テレビ放送（株）

ステージゾーン　54. モーディア

お仕事名
「モデル事務所」
モデルのお仕事にはファッションショーや雑誌の撮影、テレビ出演など色々なお仕事がありますが、今回はファッションショーの体験をしました。簡単なウォーキング、ポージングレッスンを行いその後、現役モデルと一緒にステージ上でファッションショーを体験しました。

＜参加企業・団体＞
（一社）日本モデルエージェンシー協会
（株）モーディア

ステージゾーン　55. お絵かきブース

お仕事名
「画家「未来のさっぽろ」を描いてみよう！」

「未来のさっぽろ」をテーマとして、自由に絵を描きました。みんなが描いた絵は、スタッフで買い取りをして飾らせてもらいました。

＜参加企業・団体＞
（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

ステージゾーン　56. 愛犬美容看護専門学校

お仕事名
「トリマー」

トリマーのお仕事としてマネキンの犬を使用してのブラッシング作業やリボン付け、ウィッグを使ってのカッティングなどを体験してもらいました。
＜おまけ＞
記念写真

＜参加企業・団体＞
愛犬美容看護専門学校

ステージゾーン　57. 愛犬美容看護専門学校

お仕事名
「動物看護師・獣医師」

獣医師のお仕事としてぬいぐるみを使用して出産手術を体験しました。動物看護師は手術の助手と手術前後の準備の仕事を行いました。
＜おまけ＞
記念写真

＜参加企業・団体＞
愛犬美容看護専門学校

ステージゾーン　58. 北海道米食味体験

お仕事名
「北海道米食べ比べブーススタッフ」

3種類の北海道米（ゆめぴりか・ふっくりんこ・ななつぼし）を大人に食べ比べしてもらい、アンケートを回収して粗品を渡しました。
＜おまけ＞
北海道米オリジナルグッズ

＜参加企業・団体＞
北海道米販売拡大委員会

ステージゾーン

59. GKI

お仕事名
「ロボットプログラミング」

ロボットプログラマーのお仕事を体験しました。
LEGO®EV3のロボットが動くように、プログラミングをしました。

＜参加企業・団体＞
㈱GKI

ミニさっぽろ市内にはスタッフ以外の大人は入ることができません。そこで保護者の皆さんのために会場見学などができる大人ゾーンを設けています。また、会場内の小展示場を休憩スペースとして開放し、ここに出展企業のPRコーナーを設置しました。

また、今年もミニさっぽろの会場内に特別に入ることができる「大人ツアー」も実施しました。

大人ゾーン　企業PRブース　/実施場所：小展示場

保護者の休憩場所として小展示場を開放し、企業のPRコーナーを設置しました。

大人ゾーン　ミニさっぽろ大人ツアー受付窓口　協力：（株）JTB北海道

大人見学ツアーは子どものお仕事のひとつとして実施され、多くの大人が参加しました。

大人ゾーン　外周見学通路

外周通路
通路幅2mの外周通路を設け、保護者の見学機会を増やしました。さらに、企業PRのためのパンフレット・ポスターを掲示しました。

ミニさっぽろ

ミニさっぽろ2017の参加者を募集するポスター･チラシを制作しました。会場内では手持ちのツールとしてお仕事情報誌をもれなく配布し、会場内での就職活動に役立ててもらいました。

また、新聞やテレビでも情報として取り上げられました。

【告知ポスター（B2）】

小学校で掲示していただきました。

【告知チラシ】

札幌市内及び札幌広域圏（北広島・江別・恵庭・千歳・石狩・当別・新篠津）の小学校3・4年生に配布しました。

【お仕事情報誌】

出展企業である（株）北海道アルバイト情報社様が「アルバイト北海道ミニさっぽろ版」を作成し、参加者全員に配布。お仕事情報誌では会場内でできるお仕事の内容や会場MAPを紹介しました。

【ホームページ】

ミニさっぽろで体験できるお仕事の紹介やチケットの購入方法、ミニさっぽろの楽しみ方などを紹介し、ミニさっぽろをより楽しんでもらうために情報提供の充実を図りました。

ホームページアドレス
http://www.mini-sapporo.com/

「ミニさっぽろ」の様子はテレビニュース、新聞記事などでも広く取り上げられ紹介されました。
期間中、北海道新聞社のブースからは、子どもたちがつくった新聞が発行され、参加した子どもたちの声が紹介されました。

●テレビニュース番組

・9月30日（土）　STV「NNNストレイトニュース」
・10月8日（日）　STV「ハイ！STVです」

●北海道新聞

・10月17日（火）付　朝刊
札幌地域新聞

働いて納得 社会の仕組み

小学生4千人が職業体験

医師や建設業、美容師… 給料で買い物、食事も

●子ども北海道新聞

働く楽しさ、苦労体験

多様な職種に挑戦 ミニさっぽろ

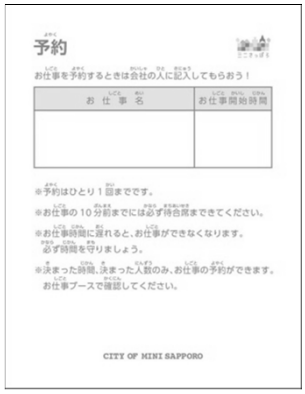
北海道新聞

号外

私たちが取材しました

子ども記者 密着

【市民証】 ミニさっぽろ市民の証として参加者全員に配布しました。中面ではどのお仕事でいくらお給料をもらったか、などを記録してもらいました。また、アレルギー物質チェック表もついています。



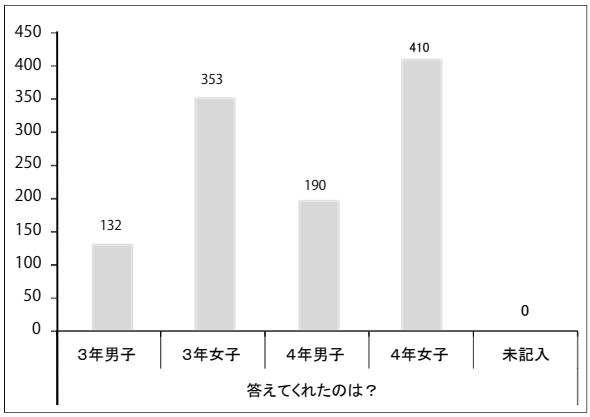
【ミニさっぽろ地域通貨「ドーレ」】

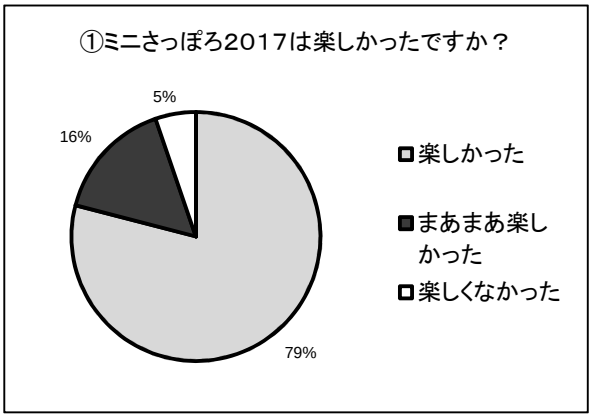
【スタッフ証】 ミニさっぽろの運営に関わる人たちの役割がひと目でわかるようなスタッフ証を身に着け、それぞれのセクションを担当しました。

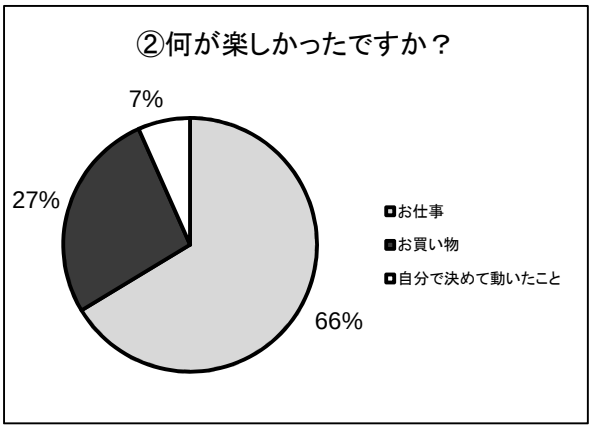
会場風景

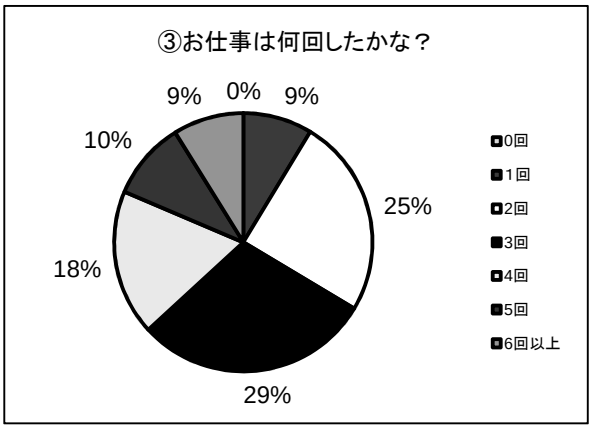
会場風景

来場者アンケート結果（子ども）









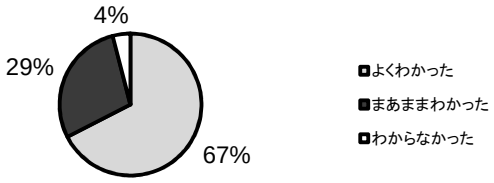
④この会場にないお仕事で、他にどんなお仕事体験をしてみたい？

デザイナー、ニュースキャスター、漫画家、飛行機体験、YouTuberなど

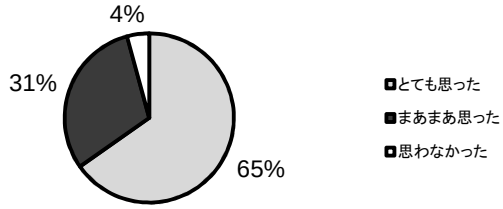
⑤将来どんなお仕事をやりたいと思った？

消防士、看護師、医者、美容師、バスガイド、獣医、アナウンサー、銀行員、パイロット
ウェディングプランナー、ファッションモデル、イラストレーター、学校の先生、システムエンジニア
調理師、キャビンアテンダント、作家、YouTuberなど

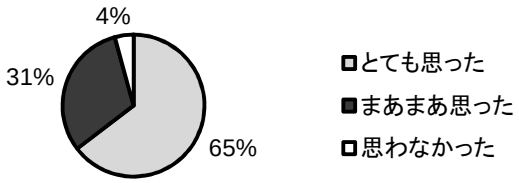
⑥「ミニさっぽろ」に参加してみて、働くことの楽しさや大変さ、お仕事によってみんなの生活がなりたっていること（社会の仕組み）が分かった？



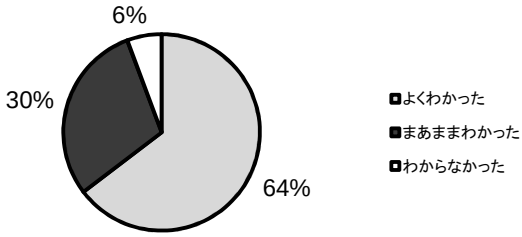
⑦「ミニさっぽろ」を通じて、札幌市はいろいろなことにチャレンジできるまち（さまざまな体験をしやすいまち）だと思った？



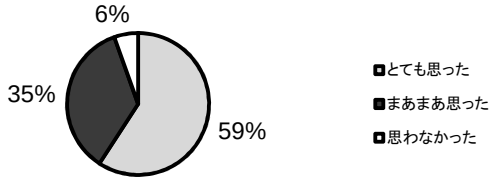
⑧「ミニさっぽろ」に参加してみて、札幌市は、子どもが安心して過ごしたり、健やかに成長できるよう1人ひとりを大切にする「子どもの権利」が守られているまちだと思った？



⑨税金を納めることや募金・寄付をすることが「まちづくり」に役立つってわかった？



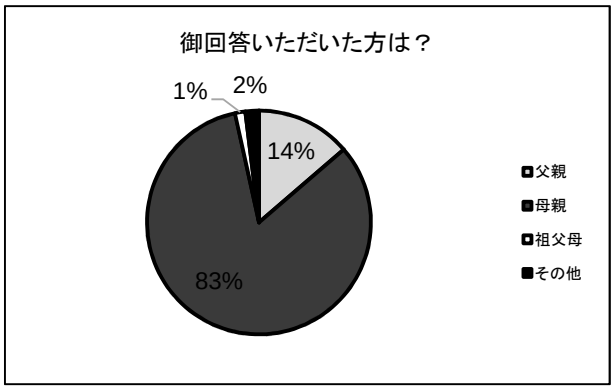
⑩「ミニさっぽろ」を体験してみて、例えば、花を植えたり　町内の清掃をしたりと、これから「地域のまちづくり活動」に参加してみたいと思った？

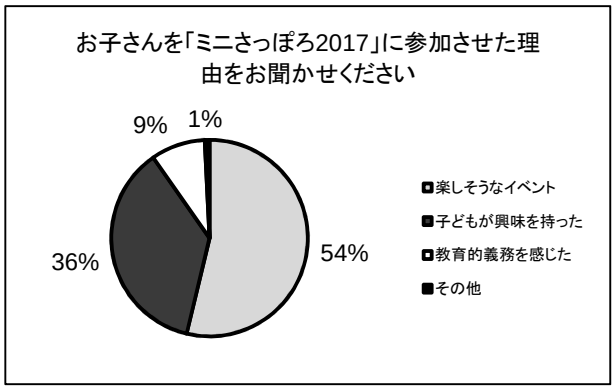


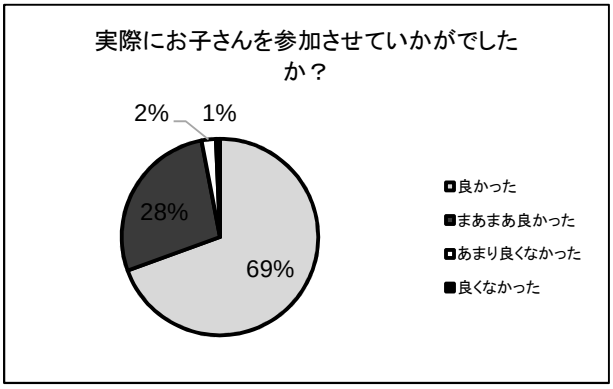
■感想

・難しいけど楽しい。
・仕事がすごく楽しいものだと思った。
・難しいお仕事もあるけど、お客さんからの励みも嬉しい。
・仕事は人のためにもなり、自分のためにもなる。
・仕事は楽しくて生活するために大事なものだと思った。
・まちづくりのためにたくさんの人が働いていると思った。
・かんたんそうに見えても力がいるところがすごいと思った。
・将来の夢をまた考える事ができた。
・責任を持ってたのしくやるもの。
・大変だけどやったあとの達成感が味わえる。
・大変だけど頑張った分お金がもらえて嬉しい。
・いろいろな仕事や店があって町ができていると思った。
・お仕事はみんなを幸せにするものだと思った。

来場者アンケート結果（保護者）

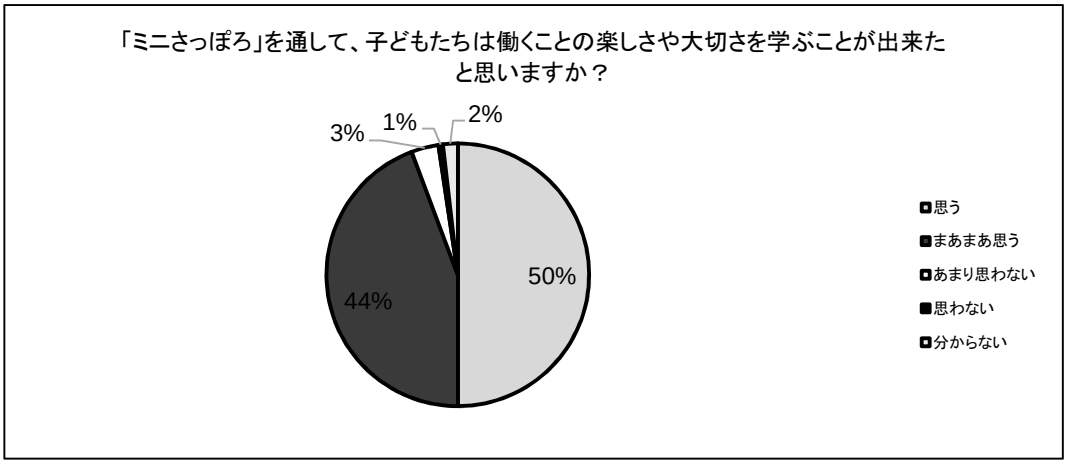






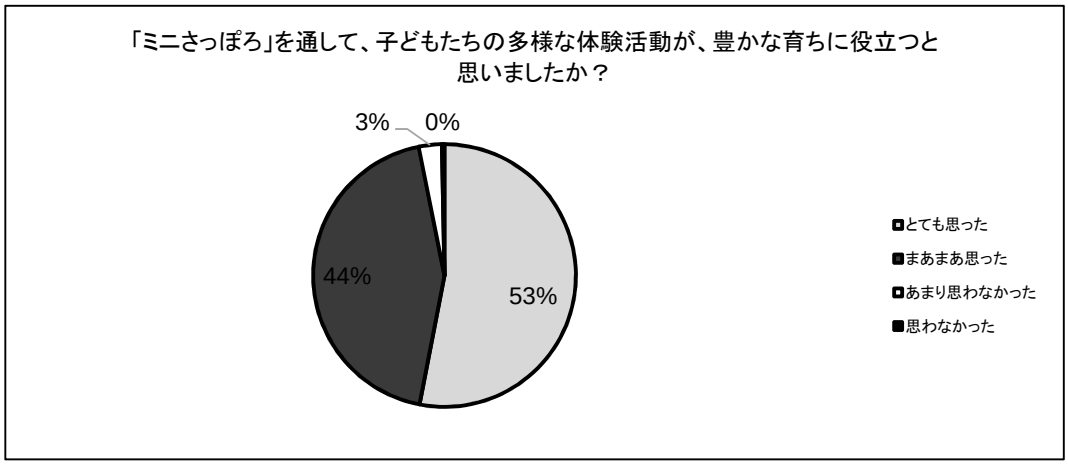
【良かった理由】
・昨年も参加して楽しかった。
・仕事の大切さを学べた。
・自分なりに時間配分を調節したり興味のあるものを探したりできた。

【良くなかった理由】
・参加人数が多いのでやりたいことがやれなかった。
・待ち時間などのシステムがわかりにくかった。
・見学可能であれば、仕事の様子を見てみたかった。

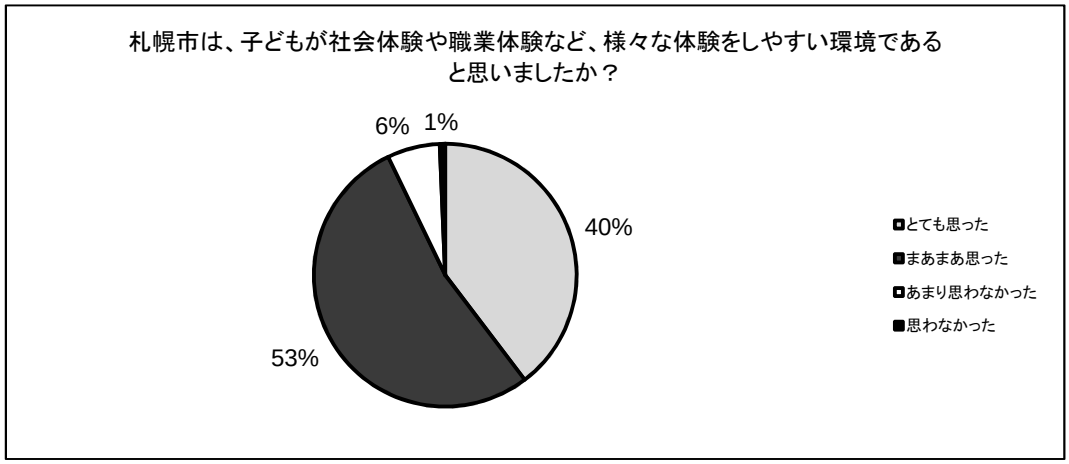


【思う理由】
・働いてお金をもらうことに楽しさを見出せた。
・学校では知ることのできないお仕事のことを知ることができた。
・今後の仕事に対する考え方が変わると思った。

【思わない理由】
・遊びの延長としか感じていないように思った。

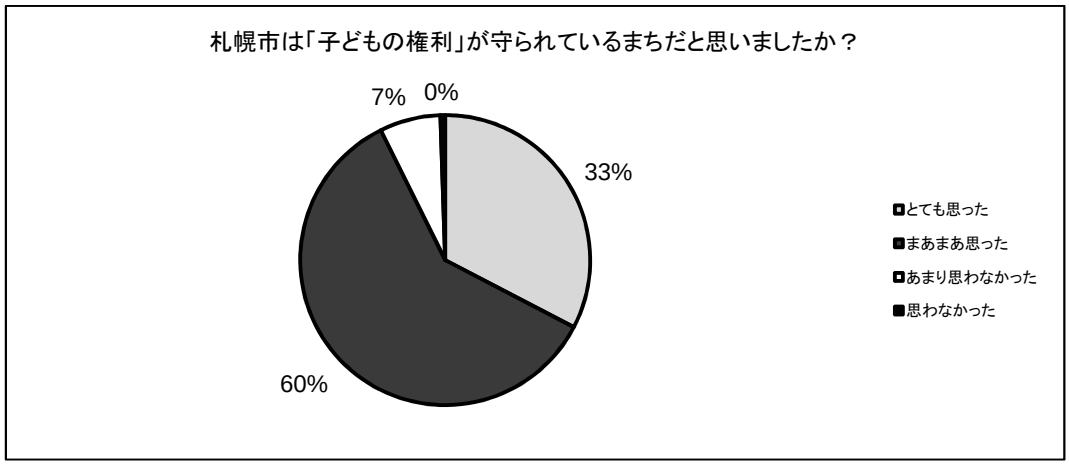


【理由】
・初めて会う人とのコミュニケーションを取っていた。
・普段できないことができた。
・自主性、意欲を持つ事の大切さを知ってもらえている。



【思う理由】
・イベントがたくさんある。

【思わない理由】
・子どもの安全面やスムーズな順路案内など、まだ改善すべき点が多いように思う。
・もっと多くのPRや参加するチャンスがほしい。



【思う理由】
・大人が会場に入れないのが良い。

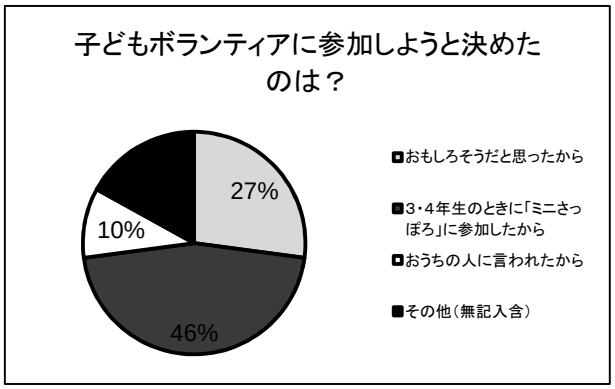
【思わない理由】
・実感する機会がない。

■ご意見・ご感想（抜粋）

・昨年のチャンスを逃したのが残念。もっと宣伝してほしい。
・スムーズに仕事体験ができるように子どもに説明があるといい。
・DSして待っている子ばかりで、待ち時間をもっと楽しませてほしい。
・ブースごとに色分けされていたら子どもたちもわかりやすいかと思う。
・予約1つだけはあまり意味がないような気がした。
・人数、日数をもう少しわけてほしい。
・会場に時計があると良いと思った。
・中央に保護者が通る道があるといいと思った。
・システムを子どもがよく理解できていない。
・もっとブースを増やしてほしい。
・5年生以上も参加できたら良いと思った。
・困ったときにもっと助けてほしい。
・ホームページで会場図を事前に公開してほしい。
・子どもはシステムがよくわかっておらず、ほとんどの時間をうろうろして過ごしたようなので、もう少し説明してほしかった。
・待ち時間、効率的な動き方ができない子が多く、大人のサポートが必要な場面が多いと感じた。
・アンケートを持ってきた男の子が「楽しかった！」と嬉しそうだった。
・ついてまわる親は大変だけど子どもがすごく楽しんでいて成長できるイベントなので参加したかいがあると思った。
・自主性を重んじているのがとても良い。

子どもボランティアアンケート結果

●子どもボランティア



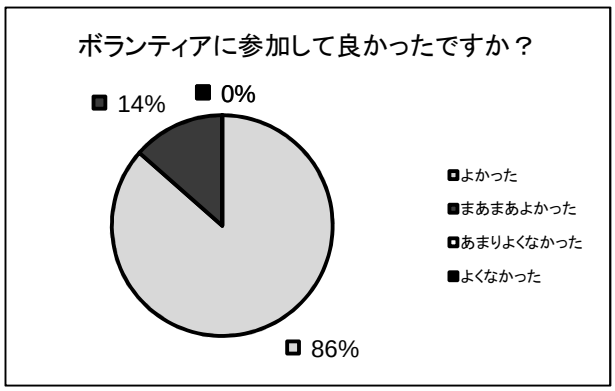
■参加理由（抜粋）

・昨年、子どもボランティアとして参加して楽しかったから

・友達に誘われたから

・姉がやっていて楽しそうだったから

・去年参加できなかったから



■良かった理由

・裏でボランティアの人がこんなに頑張っていたことを知ることができた

・長時間仕事をすることで、3、4年生のときより本格的な体験ができた

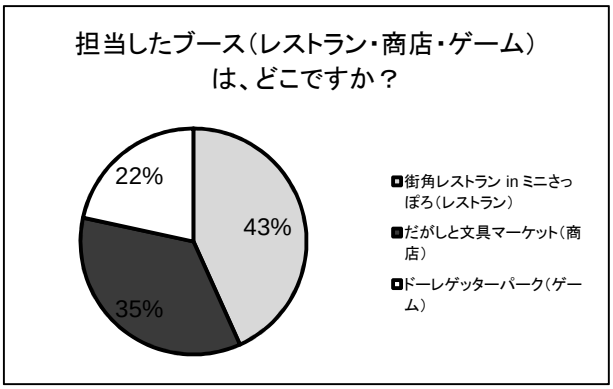
・働くことの大切さ、大変さを知り、達成感を味わえた

・普段話すことのない違う学校の人と関わることができた

■良くなかった理由

・目の前にお菓子があるのに買えないのが悔しかった

・ずっと立ちっぱなしで疲れるからイスに座りたい



■担当したブースについてのご意見・ご要望

【街角レストラン in ミニさっぽろ（レストラン）】

・売り切れたことを知らせるための声かけをし、すぐに看板を作る

・会計レーンと渡すレーンをわけて、メニューごとのレーンを作るべき

・お客さんが座って食べるスペースを作るべき

【だがしと文具マーケット（商店）】

・混んでくるとテーブルが押されるから固定すべき

・お店に入れる人数を決めれば押されたりせずに安全だと思う

・休憩のとき2人でまわすのは大変だから人を増やしてほしい

【ドーレゲッターパーク（ゲーム）】

・コイン落しをもっと簡単にする

・輪投げの輪が柵の外に出てしまうので場所を変えるべき

■ご意見・ご感想（抜粋）

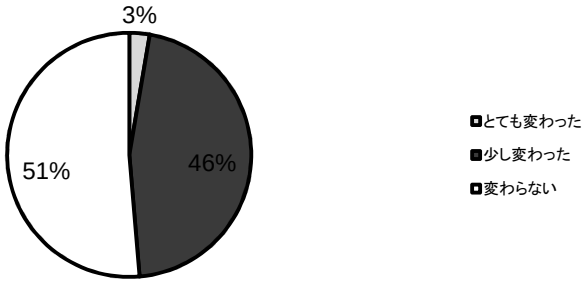
・仕事の大変さ・大切さが少しだけ分かった。
・食べ物を作る仕事がとても楽しいものだと気づきました。
・未来の札幌もミニさっぽろのように子どもの意見をたくさん取り入れてくれる街になって欲しい。
・みんなで協力して仕事を終えたときにすごい達成感がありました。
・仕事内容を分かりやすく、丁寧に教える（伝える）のは大変だけど大切だと思う。

●子どもボランティア保護者アンケートから

■お子さんが子どもボランティアに参加してみた感想（抜粋）

・「働くことの大変さ、お金の大切さ」を身をもって感じてくれたようで非常によかった。
・普段の学校生活だけではできない体験ができて良かった。
・「疲れた」と言って帰ってきましたが、とてもいい顔をしていました。
・昨年に引き続きの参加でしたが、また違った楽しみ、経験をしたようです。
・張り切って声を出し、下級生ににこやかに話し掛ける姿を見て、成長を感じました。
・知らない人との活動に親が不安だったが、笑顔でできごとを話す姿に行かせて良かったと感じた。
・「いつもお仕事大変だね。ありがとう」と親に言ってくれました。
・「見返り」を求めず、積極的に働くことの大切さを学べて良かったと思う。
・自分たちの考えたアイディアが多数採用されており、非常に喜んでいました。
・任された仕事を責任持ってやり遂げることで自信が持てたと思います。

子どもボランティアに参加した前後で、お子様に変化はありましたか？



■「子どもボランティア」に参加する「前」と「後」では、どのように変化したか（抜粋）

・「ボランティアしてあげる」という気持ちの間違いに気づいたこと
・親をはじめとする「働く人」の大変さが少し理解できた様です。
・初対面の人とコミュニケーションを取りながら協力できる様になったことは今後に役立つ。
・家族と接する自分と他者と接する自分の違いについて感じているところ。
・相手のことを考えながら行動するということが少し身に付いたように感じます。
・人の話を落ち着いて聞けるようになった。
・リーダーシップのある他参加者と関わることで、「度胸も大事」と述べていたのが印象的。
・ボランティアを行うことで、喜ぶ人たちがいることに気づいたようです。
・下級生の子たちに対する接し方に「思いやり」が加わった気がする。
・自分で進んで「こうしよう」という行動が増えた気がします。

■ご意見・ご感想（抜粋）

・子どもにとって貴重な体験機会です。このような機会が市内で増えることを希望します。
・参加記念品の品目、デザイン等について熟考をお願いします。
・担当ブースをローテーションで交替することでより多くの経験ができると考えます。
・大人のスタッフがとても優しかったと嬉しそうに話していました。
・親、先生以外の大人と関わる貴重な機会でしたが、安心して参加できたようです。
・子どもたちの可能性を広げるという意味からもいろいろなボランティア体験機会があると良い。
・事前の打ち合わせがあることで不安なく取り組めたようです。
・「ミニさっぽろ」の継続開催を強く希望するとともに、このような関わりができる催物を増やして欲しい。
・お迎えで来た保護者が消灯後のロビーで待たされた。ボランティア解散までがイベントです。
・3、4年生の時に自分が楽しんだ事業を、裏方として活躍できる仕組みは、様々な角度から物事を見ることができ非常に良い仕組み。
・より多くの子どもたちが今回のような経験ができるよう祈っています。

札幌市民憲章（さっぽろしみんけんしょう）とミニさっぽろ

札幌市民憲章は、“札幌”をより豊かで明るく住みよいまちにすることを願って、昭和38年（1963年）11月3日に市民みんなで制定しました。

ミニさっぽろ2017は、仮想のまちでの生活体験や就業体験を通じて、この市民憲章の重要性を子どもたちに知ってもらうことを目的の一つとしています。

ミニさっぽろ

前章：わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です。

「ミニさっぽろ市」の市民であることにほこりをもち、みんなが楽しく過ごせるようにしましょう。

1章：元気で働き、豊かなまちにしましょう。

「ミニさっぽろ市」で元気で楽しく働きましょう。

2章：空も道路も草木も水も、きれいなまちにしましょう。

「ミニさっぽろ市」はみんなのまちです。みんなでまちの中をきれいにしましょう。

3章：きまりをよくまもり、住みよいまちにしましょう。

「ミニさっぽろ市」のきまりをまもって、みんなが楽しいまちにしましょう。

4 章：未来をつくる子どものしあわせなまちにしましょう。

「ミニさっぽろ市」のように、札幌市がしあわせなまちになるように、
普段からがんばりましょう。

5章：世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう。

「ミニさっぽろ」を世界にほこれる行事にしましょう。

こどものまち「ミニさっぽろ2017」開催に御協力いただいた企業・団体等 （順不同・敬称略）

【企業協賛】

札幌エネルギー供給公社、（一財）札幌市環境事業公社、（一財）札幌市下水道資源公社、
（一財）札幌市水道サービス協会、㈱札幌振興公社、㈱札幌ドーム、札幌日信電子㈱、㈱札幌リゾート開発公社、
生活協同組合コープさっぽろ、大丸㈱、東日本電信電話㈱北海道事業部、㈱フィリップスエレクトロニクスジャパン、
フクダ電子北海道販売㈱、富士通㈱、ホクレン農業協同組合連合会、㈱北海道アルバイト情報社、
北海道コカ・コーラボトリング㈱、雪印メグミルク㈱

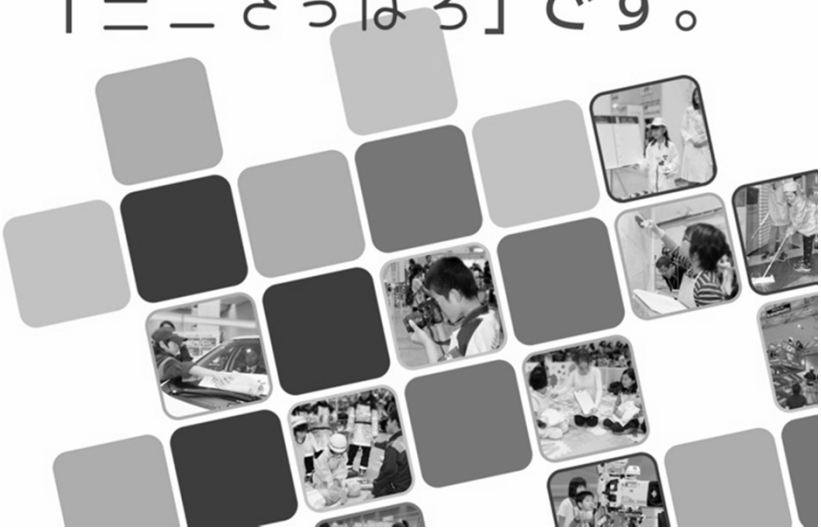
【出展協力】

愛犬美容看護専門学校
㈱アクセスアイ
伊藤忠エネクスホームライフ北海道㈱
岩田地崎建設㈱
花王㈱
㈱カナモト
㈱カナリヤ
札幌医科大学
札幌環境維持管理協会
札幌こども専門学校
札幌左官工事業協同組合
札幌市
札幌商工会議所
札幌地区バス協会
（一社）札幌地方自動車整備振興会
札幌テレビ放送㈱
札幌日信電子㈱
札幌ビューティーアート専門学校
㈱GKI
㈱JTB北海道
㈱ストロベリーコーンズ
㈱Sei unica
綜合警備保障㈱
大丸藤井セントラル㈱
㈱田中組
㈱ツルハホールディングス
トランスコスモス㈱
㈱ナカジマ薬局
（一社）日本モデルエージェンシー協会
日本郵便㈱北海道支社
農林水産省動物検疫所北海道・東北支所
東日本電信電話㈱北海道事業部
㈱北海道アルバイト情報社
北海道インテリアプランナー協会
北海道エネルギー㈱
㈱北海道銀行
（一社）北海道建築士事務所協会 札幌支部
北海道コカ・コーラボトリング㈱
北海道米販売拡大委員会
（公社）北海道作業療法士会
北海道自動車処理協同組合
北海道視能訓練士会
㈱北海道新聞社
（一社）北海道造園緑化建設業協会
北海道鉄筋業協同組合
（公社）北海道トラック協会
㈱北海道バスケットボールクラブ
ホテルエミシア札幌
㈱モーディア

【学生ボランティア団体】

北海学園大学Be-Harmony、武蔵女子短期大学ボランティア委員会、北星学園大学ボランティア・コパン部
北星学園大学ボランティアサークルable、札幌子ども会連合会、北海学園大学HISTORY　北海学園大学P-コネクション
テスク＆祭人

御支援と御協力ありがとうございました

三二さっぽろ

札幌市子どもの権利条例で定める「豊かに育つ権利」を保障するため様々な体験機会を提供する。それがこどものまち「三二さっぽろ」です。